

1 事業のねらい

友人と参加し、一緒に活動してもらうことで、友人同士の絆を深めるとともに、初めての参加者が安心して利用できる環境により、今後の施設利用の意欲づけとする。

2 事業の概要

- 期日 R5.2.25(土)～26(日) 1泊2日
- 対象 小学校3年生～6年生 18組程度
中学校1年生～3年生 5名程度
- 人数 小学生21組92名(応募76組332名から抽選)
中学生11名(応募12名)
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	13:00	13:15	15:30	17:30	18:30	19:30	22:00
1/21 (土)	受付	開会式	活動1 館内ラリー (半数入替) 活動2 森のストラップづくり 活動2 森のストラップづくり 活動1 館内ラリー 【ネイパル森】	活動3【ネイパル森】 スノーキャンドルづくり	夕食	点灯式	入浴 自由時間 就寝
	7:15	8:30	11:00	11:20	11:30		
1/22 (日)	起床	朝食	活動4 キンボール (半数入替) 活動5 カードクリップづくり 活動5 カードクリップづくり 活動4 キンボール 【ネイパル森】	アンケート 記入	閉会式	終了	

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 友人との絆を深めるためのプログラム構成
 - ・活動2および5では、参加の記念となり、思い出として残せる創作活動を用意した。また、活動3ではグループで協力してスノーキャンドルを作成する活動を提供し、友人との交流を促進させた。
- グループ間の交流を促進するための仕掛け
 - ・活動1では他グループと行うゲームを取り入れ、交流を促すよう工夫した。また、活動2および5では作品発表とインタビューを行い、交流のきっかけを創出した。

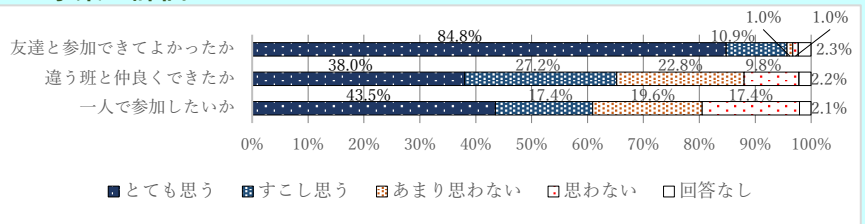


班同士の交流（館内ラリー）



スノーキャンドル点灯式

5 事業の評価



■参加者アンケートから

・友達と参加できたことについて、高い評価を得ることができた。活動の満足度も高く、ねらいを達成することができたと考えます。

■参加者の声

・「チームで協力するのが楽しかった。」「みんなでおそろいのビーズを選んで、かわいいストラップを作ることが出来た。」

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 友達との参加形態は、非常に需要が大きいことが分かった。今後も同様の形態で事業を計画する意義がある。
- 本事業では中学生にジュニアボランティアとして参加してもらった。積極的に参加者に関わろうとする場面が多く見られ、ねらいの達成に資することができた。
- 「違う班と仲良くできたか」という項目について肯定的な評価が7割弱にとどまっていることから、新たな友達を作る喜びを体感できる機会の検討を必要とする。



企画のポイント

- 親しい友人との利用で、初めてでも安心して参加できる機会の提供。
- 友人同士の絆をさらに深めるための活動選定と、新たな友達を作る機会の設定。